

第 19 回放射線合同交流会参加報告書

日時 : 平成 29 年 7 月 29 日 (土) 15:00~17:15

場所 : 島津製作所関西支社 島津マルチホール

報告者 : 社会医療法人 きつこう会 多根総合病院 夏日 勇人

プログラム

- ・ 人工関節と撮影する前の基礎知識シリーズ
～人工股関節 (THA) 撮影の撮影技術と画像読影～
奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 副技師長
安藤 英次 先生
- ・ 読影医からみた依頼内容と結果
～物語と対話に基づく医療～
関西医科大学総合医療センター 放射線科副部長
池田 耕士 先生

報告事項

合同交流会に参加してきました。京都医療科学大学、大阪大学、大阪行岡医療専門学校長柄校、神戸総合医療専門学校、大阪物療専門学校、清恵会第二医療専門学院の 6 校の OB 会が主催する会です。約 120 名という大勢の方が参加され、当校からも 25 名の方に参加して頂きました。

1 演題目は、奈良県立医科大学附属病院の安藤先生より『THA を挿入された患者さんの股関節撮影』についてご講演いただきました。

THA を挿入しているか否かによる読影ポイントの違いとそれに合わせた撮影法を解説していただきました。あいまいな撮影方法では、フォローアップの際に撮影者間での画像の違いがでてしまうが、明確な撮影基準を決めることで、撮影者間の差を減らす方法を解説していただきました。当院での撮影法も撮影基準がはっきりしておらず、やはり撮影者間での違いによる画像の差が出ているので、基準とする撮影法を提案してみようと思いました。

2 演題目は、関西医科大学 総合医療センターの池田先生より『読影医から見た依頼内容』のご講演をいただきました。診療放射線技師も『読影の補助』が求められつつある昨今において、読影医目線での読影ポイントを解説していただいたこの講演は大変興味深いものでした。当院の当直時は読影医がおらず、診療放射線技師も読力が必要とされるのが現実です。読影医目線での画像の確認の方法は非常に参考になりました。

第 19 回放射線合同交流会参加報告書

今回は、開会あいさつ、幹事、現場お手伝いと当校の若手がお手伝いさせていただきましたが、参加者も当校をはじめ、どの OB 会でも若手の出席率の高さに驚かされました。また、当初は 80 名規模を想定していたにもかかわらず、120 名を超える参加があったことを、大変うれしく思います。

このような合同の交流会を行うことで、皆様の OB 会から遠のく足を少しでも引き戻せたら、幸いです。来年度のご参加もお待ちしております。



当校が開会の挨拶当番でした（副会長 西）



ご講演いただいた安藤先生



ご講演いただいた池田先生